

J A東京スマイルは1支店1協同活動に取り組んでいます。1支店1協同活動とは、支店を核にした組合員・地域住民・JAが協同で行う新たな関係づくりの取り組みです。

## 都市農地に関する研修会を実施 鹿骨支店

佐々木亮 通信員



鹿骨支店は3月1日、管内の組合員を対象に「都市農地に関する研修会」を支店会議室で開催しました。支店管内には多くの農地があり、以前より組合員の皆様から都市農地に関係する問い合わせや研修会の要望が寄せられ、支店協同



活動実行委員会を通じて35人の参加で実施しました。

講師には一般社団法人東京都農業会議事務局長の北沢俊春氏を招き、昭和44年に施行された「新都市計画法」から始まり、「生産緑地法」「相続税納税猶予制度」、平成29年施行の「改正生産緑地法」に至る法律・制度等を中心に都市農業の現状についての説明を受けました。市村支店長は「質疑応答も多く予定時間を超えた活発な意見交換ができました。農地保全・維持するために、法制度を正確に理解することが出来て不安解消に繋がりました。今後も組合員皆様の要望に応えた活動をしていきたい」と話しました。

## 地域とJAをつなぐ「ふれあいまつり」開催 足立支店

宮路美華 通信員

5月26日、足立支店は支店協同活動として「第5回JAふれあいまつり」を開催しました。このイベントは地域の皆様にJAをより身近に感じ、理解を深めていただく事を目的に毎年行っているものです。今回は農産物直売所「あだち菜の郷」の1周年を記念した即売会も同時開催しました。ふれあいまつりでは、JA職員中心にフランクフルト・焼きそば・綿あめ・小松菜パン等の屋台販売を行い人気となり、スーパーボールすくい・輪投げコーナーでは子ども達の笑顔や笑い声が絶えず、会場を賑やかにしてくれました。特に「あだち菜うどん」や「手作り足立区産小松菜みそ汁」は合わせて350食を試食として用意しましたが早々に配布終了となり「試食の量を増やしてくれるともっと嬉しい」と来場者が本音をもらす程、区内産を使用した食品に興味を持ってくれました。

会場では足立区の姉妹都市である鹿沼市・魚沼市による物産展、区の花健康測定の他、JA共済のアンパンマンも来場し、ふれあいが出来て、地域の小さなお子様から大人の方まで楽しい時間を一緒に過ごすことができました。

